

令和7年度 第2回 相生市総合教育会議会議録

日 時	令和7年12月17日（水）13時30分から14時30分
会 場	市役所3階 議員控室
出席委員	谷口 芳紀 市長 坂本 浩宣 教育長 米澤 聖子 教育長職務代理者 萩原 喜樹 教育委員 小西 毅 教育委員 頭島 恵美 教育委員
出席職員	三宅 淳一 企画総務部長 大西 博之 教育次長（管理担当） 富田 大三 管理課長 土居 哲也 学校教育課長 西山 学 生涯学習課長 佐原 正樹 体育振興課長 高嶋 佳奈 人権教育推進室長 立巳 訓子 管理課副主幹（書記）
傍聴者	なし

1 開会

2 市長挨拶

年末の大変お忙しいところ、令和7年度第2回相生市総合教育会議を開催させていただきましたところ、全委員の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

頭島委員におかれましては、市議会で全会一致での再任が承認され、本日辞令交付をさせていただきました。引き続き、相生の教育にお力をお貸しいたきますようお願いいたします。

また、各委員には平素より相生市の教育行政にご尽力いただき、誠に感謝いたしております。

相生市では、今年度、第6次相生市総合計画の中間見直し及び第5期相生市行財政健全化計画の策定を行っております。

厳しい財政状況の中にあっても、本市の未来を輝かしいものにするため、選択と集中による効果的な財政運営を行いながら、地域が活力に満ち、市民の皆様が「住んでよかった」と感じていただけるよう、各施策の推進に取り組んでまいります。

教育委員会におかれては、教育は子どもから高齢者まで、人と人とのつながりを育てる重要な分野であり、相生の発展、活力の源となりますので、引き続きご尽力賜りますようお願いいたします。

この総合教育会議は、今後の相生の教育についての方向性を決定する非常に重要な場でございます。各委員の忌憚のないご意見をいただきながら、今後に向けて整理をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員の皆様におかれましては、インフルエンザが流行しておりますので、健康には十分留意され、益々ご活躍されますことご祈念申し上げ、開会のあいさつとさせていただきます。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 令和8年度の重点施策について

教育次長（管理担当）

令和8年度の重点施策について、事務局よりご説明いたします。

管理課長

「令和8年度の重点施策について」一覧のとおり7点の事業を挙げております。これらの重点施策について、各担当よりご説明申し上げます。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課	第2次相生市教育振興基本計画改定事業 小中学校体育館空調整備事業
学校教育課	次世代校務DX推進事業 地域まるごとつながりの中での幼小中一貫教育の推進 ～特色ある事業を活かした幼小中の連携強化～
生涯学習課	世代をつなぐ学びの促進
体育振興課	幼児の運動能力向上事業
人権教育推進室	相生の子どもたちで考える「相生市いじめ防止宣言」

教育次長（管理担当）

それでは、ただいまご説明させていただきました令和8年度事業につきまして、ご協議をお願いしたいと存じます。また、質疑もあわせてお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。

市長

今ご質問等がなければ、後ほどの意見交換の中であわせてお願いいたします。

教育次長（管理担当）

それでは、続きまして、協議事項（２）部活動の地域展開について事務局よりご説明いたします。

（２）部活動の地域展開について（学校教育課長より以下説明）

（１）相生市の部活動地域展開の目的

市内の中学校における生徒数減による部活動運営上の課題、教員の働き方改革といった課題を踏まえ、学校部活動の地域指導者による「地域クラブ」への段階的な移行（展開）の検討を進めることで、将来にわたって持続可能な、スポーツ・文化的活動を中学生が主体的に選択し、親しむことができる機会の確保を目指す。

（２）国・県の推進方針

ア 地域の実情に合わせて３つの実施型、「地域移行型」「地域連携型」「地域移行・地域連携ハイブリッド型」を参考にしながら実施していくが、全国的にも当初の計画通りに進んでいるわけではない。

イ 改革実行期間等の見直し（改革実行期間等の見直し（「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」令和７年５月１６日最終とりまとめ）

（ア）前期：令和８～１０年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和１１～１３年度

（イ）休日については、前期の間に地域展開等に着手

（ウ）平日については、中間評価の段階で検証を進め、更なる改革を推進

（エ）「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更

（３）相生市における現状の取組

ア 現在の市内部活動の体制

（ア）部活動指導員 ４名

（イ）部員数の減少が深刻化

令和７年度部活動では、双中と矢中の野球部は合同チームとして活動、双中ソフトボール部は太子東中と合同チームを組んで大会に出場している。

また、現在の部活動数は、那中８、双中１３、矢中４。

イ これまでの検討の経緯

(ア) 令和5年度、「相生市中学校部活動地域移行推進協議会」にて検討開始

a 委員

相生市スポーツ協会各種目代表、スポーツクラブ21代表、中学校体育連盟会長、市内中学校長、中学校保護者代表、学識経験者等19名

b 協議内容

(a) 部活動の休日の地域移行に向けた実態調査及び現状把握

(b) 受入れ団体及び指導者の確保、体制整備

(c) 休日の地域移行可能な競技種目の具体的な実施方法 等

(イ) 令和6年8月、男女バスケットボール部地域連携型にて活動開始

a 平日：それぞれの学校で部活動として活動

b 休日：バスケットボール協会、中学校顧問と共同指導体制

(ウ) 令和7年7月、中学校教職員への意向調査実施

指導参加意向を示した教員の割合 58.6%

(エ) 令和7年7月、相生市文化協会代表者と懇談・聞き取りの実施

市文化会館で開催の相生市文化祭について、中学生へのPR活動実施

ウ 先行実施団体の動向

(ア) 男女バスケットボール部

a 現行の3中学校での部活動を継続（令和9年度夏まで）

b 令和9年度夏（3年生引退後）地域クラブチームへ移行予定

(イ) サッカー部

a 令和8年度より3中学校でサッカー部員の募集を開始予定

b 「相生市中学校サッカー部」とし「拠点校方式」へ

エ 今後の相生市部活動地域展開の方向性

(ア) 現存部活動型

部活動指導員等地域人材（令和8年度から募集）を活用し、現部活動中心で活動

(イ) 合同部活動型（拠点校方式）

a 複数校による合同での部活動

b 部がある学校を拠点校として活動

(a) 双葉中学校拠点サッカー部（令和8年度より）

(b) バスケットボール部（令和6年度から9年度夏まで）

平日は各学校で部活動、休日は合同チーム

(ウ) 地域クラブ型

a 公認地域クラブ

b バスケットボール部で実施（令和9年度夏より）

(エ) 3つの型が混在（令和8年度以降）

環境の整った種目から随時「合同部活動型」、「地域クラブ型」へ展開

学校教育課

以上を「相生市中学校地域クラブの展開に向けたロードマップ」としてまとめました。今後の予定は、令和8年度できるだけ早い時期に、基本方針とロードマップを、生徒や保護者、地域へお示ししたいと考えています。

教育次長（管理担当）

それでは、協議事項（1）ア 令和8年度の重点施策について 及び（2）部活動の地域展開について、ご協議をお願いします。

市長

特にならなければ、次へお願いします。

教育次長（管理担当）

それでは、協議事項（1）ア 令和8年度の重点施策について 及び（2）部活動の地域展開について、先ほど事務局の方から説明差し上げました通り進めさせていただくということによろしいでしょうか。

市長・全委員

了承

教育次長（管理担当）

それでは、次第4「意見交換」に移ります。

総合教育会議は、市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議でございます。

これからの相生教育について、まず、教育委員の皆様より所感をお聞かせいただきたいと思っております。次に、市長より教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と委員の皆様による自由意見交換を行っていただきたいと考えております。

では、米澤教育長職務代理よりよろしく申し上げます。

米澤教育長職務代理者

重点施策4番の「地域まるごとつながりの中での幼小中一貫教育の推進」についてお聞きします。

矢野小学校で、学校運営教育協議会（コミュニティスクール）を進めていくということですが、令和8年度から小規模特認校としてスタートしますので、具体的にはどのように展開していくのか、進捗状況を教えていただきたいと思います。

学校教育課長

昨日の学校評議委員会で、評議員の方に対して、今後、学校運営教育協議会（コミュニティスクール）という形で進めていくので、協議会メンバーの選定をどうするかなどを学校長が説明し、学校運営教育協議会（コミュニティスクール）へ移行するように進めているという現状でございます。

米澤教育長職務代理者

以前にこの制度の話が学校現場に下りてきたときには、なかなか現場では受け入れづらいようなシステムでしたが、制度化され現場へ入ってきています。相生市でも令和10年度には全ての小・中学校で展開ということですが、学校現場では、地域の力を借りようとしても難しく、大きな課題でもありました。

今地域にいと、「学校は敷居が高くて行きづらい」という実感があります。こういうシステムが上手く入って矢野小学校をモデルとして広がったら、「地域とともにある学校づくり」の理想の姿、学校の独り相撲ではなく、地域と一緒に学校教育が充実したものとなるよう願います。よろしく願います。

教育次長（管理担当）

続いて萩原委員お願いいたします。

萩原委員

10年以上前から矢野小学校では、「矢野小学校サポート推進委員会」といって、自治会長やPTA、いろんな方面でお世話になっている方々を一堂に集めて、年に2回ほど会合を持って、学校教育へ活かすということをやっています。ですので、矢小については、下地というかそれをそのままという感じで移行していけば、スムーズに進んでいくのではないかと思います。そういう地域性でもあり、協力体制を整えることができると思います。

今年1年またいろんな学校へ回らせていただきました。

学校訪問では6校、運動会で3校へ行きまして、子どもたちや地域の様子を見させてもらいました。どの学校園も本当に落ち着いて、しっかり勉強もできておりました

し、学校生活もスムーズにできていたのではないかと感じました。やはりそれまでには、各学校園の先生方の努力、普段からの細やかな指導のおかげだと思います。今後も続けていただきたいと思っております。

また、そういった訪問等でいつも言わせてもらうことが一点あります。それは不登校傾向のお子さんが、全国的に増えているようで、定例教育委員会の中でも、不登校傾向のお子さんの様子を聞かせてもらっています。今年については、今までよりも学校に行きにくいというお子さんが減っているというふうなことで、いい傾向かと思っておりますが、いろんな原因で、行きづらいということが起こっているのではないかと思っています。そこでいつも先生方をお願いしているのは、担任の先生だけが抱え込むのではなく、学年、あるいは学校全体で対応いただく。今後もそういった形で続けていただいて、「不登校ゼロ」を目指してもらいたいと思います。

教育次長（管理担当）

それでは、続いて小西委員お願いいたします。

小西委員

私からは、2点お話をさせていただきます。

一つは、体育館空調です。1億2,000万円という大きな額のうち、4,600万円は国からの補助金が出るそうですが、市民体育館にも早く設置いただければと思います。いろんなスポーツイベントで「ぜひ付けてほしい」というたくさんの方の声を聞いております。

この補助金が4,600万円出るのに対して、DXの2億2,000万円に対しては、補助金がないのでしょうか。

弊社の中でも、DX人材が必要であることは、非常に大きな課題です。最近はいろんなものがDX化されていますが、それを調整するプログラマーが、これからは各社に1人は必要だと言われております。いろんなシステムが出ますが、もっと使いやすくしようと思うと、どうしても各社で微調整をしないとイケません。その調整をするためにいろんなプログラムを勉強した人が、これから先必要な人材となってくると思っています。

例えばいろんなシステムでエラーが起きたときとか、システムが上手くいかなかったときにどうするかなど、子どもたちで議論させるとか、DXに対して慣れ親しむというところにも活用いただければよいのではというふうに思いますので、ぜひこの分野は進めていっていただきたいと思いました。

学校教育課長

こちらの方は国の補助を受けながら、事業を進めてまいりたいというふうに考えております。今、数字は打ち合わせていませんが、児童生徒用のパソコンでは、1台につき5万円程度の補助をいただけるということですので、こちらで進めていけると考えております。

教育次長（管理担当）

それでは、続いて頭島委員お願いいたします。

頭島委員

私も、管理課の小中学校体育館空調設備工事について意見します。

近年猛暑という言葉が毎年のように言われて、夏の熱中症対策が必須の取組みになっています。

今年は、子どもたちの水分補給のためにウォーターサーバーを学校に設置されたと伺って、子どもたちの安心安全を優先していただいた対応に感謝しています。私の子どもが中学校に通っていたときは、水分を持っていくのが重くて大変でした。1リットルを2本持っていくので精一杯で、とても大変だったことを思い出しました。

来年度以降に、中学校の体育館空調が整備される計画を聞かせていただいて、とても嬉しく思いました。引き続き相生市の子どもたちの安心安全についてよろしくお願いいたします。

谷口市長

市民体育館ではなく、那波中と双中を優先したことについては、企画総務部長はどう思われますか。

企画総務部長

市民体育館は社会教育の分野になります。義務教育の方を優先し、精査させていただきました。できたら一度にしたいのですが、やはりお金の関係もありますので、順次整備ができたということになります。今年度以降も一定程度の計画がありますので、また皆様方にお伝えできる時期になりましたらお伝えをさせていただきたいと思っております。

谷口市長

市民体育館も避難所にはなっています。高波のことを考えたら、那波中の方が高いところにあります。そういうことを考えても、那波中を先にしようかということになりました。

教育次長（管理担当）

続いて市長お願いいたします。

谷口市長

私は、常々「まちづくり」を進める上での基本となるのは、「ひとづくり」にあると申し上げております。その根幹である「ひとづくり」として、「教育立市」を掲げて教育施策に重点を置いた市政運営を進めさせていただいております。

そういった中で、今後の「相生の教育」について、私の考えを3点申し上げさせていただきます。

一点目は、相生の子どもたちが夢や希望にあふれ、子どもたちのなりたい自分の実現を目指すためにも、安全・安心に学校生活を送れる環境整備が大切だと考えています。

さらに、「DAICHANアクションプログラム」を柱に、「相生の教育」を進めていただいているところですが、将来、相生を誇れる子どもたちとなってもらえるよう、今以上に「相生らしさ」が重要になると考えますので、さらなる魅力ある学校園づくりをお願いいたします。

また、インターネット社会で生きる子どもだけではなく大人も含めて、自分たちが事件や事故の当事者とならないよう、インターネット上の人権意識を高める学習機会の提供等が望まれるところです。

2点目、生涯学習分野では、高齢者における学びの場を充実させ、学びを通じた高齢者の社会参加・健康・役割創出を促し、世代間のつながりを強め、地域の活力の基礎となる人づくりにつなげる取組みを期待します。

また、社会体育については、健康づくりや仲間づくり、地域力向上の基盤となる重要な取組みであり、その質を維持・発展させるため、指導者が鍵となると考えますので、将来につながる人づくりをお願いいたします。

3点目は、小中学校の適正規模適正配置の取組みについてです。相生小学校区における地域協議会での丁寧な協議が終了し、教育委員会において、学校の在り方をご決定いただきました。また、矢野川中学校の在り方についても丁寧に協議を進めていただいていると聞いております。

来年度からは、若狭野小学校が青葉台小学校に統合され、矢野小学校では小規模特認校制度の導入と新たな学校の在り方がスタートいたします。今後も、地域や保護者の方のご意見を丁寧に聞きながら進めるとともに、環境が変わる子どもたちの不安が期待に変わるような取組みをお願いします。

最後になりますが、教育に重点を置いた市政運営において、これまで、相生市において充実した教育の取組みを行うことができていたのは、教育委員の皆様「相生の教育」への思いとご尽力によるものと大変ありがたく感謝をいたしております。委員

の皆様の教育行政のみならず市政全般に対するご協力に心よりお礼申し上げます。今後ともこれまでと変わらぬ格段のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育次長（管理担当）

委員の皆様と市長の所感をお聞かせいただきました。

それでは、意見交換を行っていただきたいと思います。

どなたからでも結構です。先ほどの協議事項に関するご意見も含め、よろしくお願いいたします。

谷口市長

米澤委員は、学校の敷居は高いとお感じでしょうか。

米澤教育長職務代理者

住民となってみたら、改めて行く機会がありません。オープンスクールや何か活動があれば、行かせていただきますが、何もないのに行くことはないです。そんなに簡単には地域の方は学校へ行ってくださらないということが、住民になってみてわかりました。

谷口市長

学校は、普段鍵が閉まっていますね。

坂本教育長

そうですね。通常、門は閉まっています。

先ほどのコミュニティスクールの話で、少し状況も踏まえて説明させていただきます。

矢野小学校では、人選を進める段階に入ってきました。これはどんなことをやってきたかといいますと、まず矢野小学校で先に職員の研修を行いました。コミュニティスクールは、矢野小学校に限ったことではなく、これから市内全体に広げないといけないので、市内の管理職の研修も先日行いました。

また、このコミュニティスクール、学校運営協議会委員の方は、今まで学校評議員というものは、各学校に5名ずつぐらい、地域の代表の方に入っていたいたんですが、それより人数を15名以内に増やして、様々な分野の人に加わっていただこうとしています。これは矢野小学校サポート推進委員会のような形になってくると思います。

その15人の中にはいろんな特技を持たれた、いろんな分野の方をお願いしたいと思しますので、今、米澤職務代理が言われたように、気持ちはあるけれども、どこで参加したらいいのかわからないと思っている人をつなぐような人になっていただきたい。例えば畑づくりのリーダーになる人が、また別の畑づくりの人を呼んでくる。そういう広がりを持っていけるような15人を厳選していただくように、現在進めております。この15人体制でどの小・中学校でもやっていこうと思っておりますので、学校の敷居は低いという形になって、地域とともに、進めていきたいというふうに思っております。

坂本教育長

それから萩原委員の方から不登校のお話が出ておりましたが、定例の教育委員会の方で資料は出していただいておりますが、全国的に増加の割合は少しおさまっており、相生市はさらに減少というところに今年は進んでおります。

これについては、いろんな要因があると思いますが、一つはサポートルームです。学校へ行きにくい子どもが、いきなり教室に入らなくても、中間的なケアとしてサポートルームを利用できるように、どの学校にも設置しました。また、不登校支援員という専門の職員も置いていますので、子どもだけで居るのではなく、そこには誰か関わってくれる大人が居ます。

そういったこともあり、今年は去年の11月末現在で不登校が56名だったところが48名で8名の減少。それから、長期欠席の子どもたちは74名が67名となり、こちらも7名の減ということになっています。

安心はできませんが、丁寧な関わり、取組みを継続していくことによって、居場所のある学校にできるのではないかと、教員にも感謝をしているところです。

谷口市長

不登校については少しずつでも減らしていただきたいと思っております。

坂本教育長

それから空調の財源については、もう少し詳しくどれぐらいの補助があるのかということをもっと調べて報告させていただきたいと思っておりますが、財源を有効に使いながら進めていきます。市民体育館の方では、また別の緊急防災対策補助金といったものが対象になりますので、その制度が明確になりましたら、それを活用して進めたいというところです。

さらにDXの方ですが、新しいシステムを入れると、トラブルが起きるので、研修をしないといけないと思っております。今回その研修をどこに入れて、どう広げていくか、対応していくかは、少し課題であると思っております。

小西委員

弊社では、管理職になりたての人がDX研修に行って勉強して、若い人が年配の方に教えていくといったことを一生懸命しております。

そうしていかないと、できる人ばかりに仕事が集まってしまいます。みんながDXを勉強するという形にしています。

小西委員

もうひとつよろしいですか。

部活動地域展開はなかなか厳しそうですが、都会とは違い、地方での指導者の問題とか、展開のめど、費用的なことなど、何かハードル、今のところの問題点はありますか。

学校教育課長

現在、バスケットボール部とサッカー部の方で、拠点校方式ではありますが、地域展開の形が進めていけるかと考えております。

認定の部活動を公募することで、そちらの方も広げていきたいと考えており、今候補としては、剣道や柔道が手を挙げていただけるのではないのかと思っています。

実証事業として、認定クラブに補助が出ますので、上手に活用して、認定クラブを増やしていきたいと考えておるところです。

教育次長（指導担当）

課長の説明に加えまして、相生市で広がらない理由としては、やっぱりスポーツ協会とか文化協会とかにお願いをしているところなんですけれども、スポーツ協会からは、指導者の高齢化ということを言われてます。今ならできそうだけれども、5年先10年先までしっかり子どもを預かれるのかどうかは不安だと言われています。若手の指導員、部活動指導員を公募することも考えておりますので、そうなれば少し進んでいくかと思っていますところ。

教育次長（管理担当）

ありがとうございます。

今回いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして関係部局とも協議、検討させていただき、さらなる取組みを進めさせていただきたいと考えております。

また、予算措置が必要な事項につきましては、今後の予算に反映できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議事項は全て終了いたしました。

閉会にあたり坂本教育長よりごあいさつをお願いいたします。

坂本教育長

谷口市長には本日もお忙しい日程の中、総合教育会議を開催していただき、意見交換をさせていただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、今年も教育委員会が進めます事業にご理解、ご支援をいただき、大変ご多忙の中、関係行事にご参加、ご出席いただき誠にありがとうございます。

年末まであとわずか、本年度もあっという間にあと4分の1となりました。

本年度予定しておりました小中学校適正配置計画の推進、来年度に向けての準備、いじめ再発防止をはじめ「DAICHANアクションプログラム」の推進、プログラミング教室の開始等を進めてまいりました。

適正配置については、地域選出の委員の皆様の熱心なご議論の中で、計画に基づく協議、結論取りまとめに進めていただけており、感謝しております。今後も地元の意向に応えられるよう、丁寧に議論、準備を進めていきたいと考えております。

さらに現在思っておりますことを少しお話させていただきます。

今年度も様々な事業、活動を行っておりますが、職員と話をするときによく話題にするのが、「5W2H」での企画・立案です。「なぜ いつ 誰が誰に どこで 何をどのように どれぐらいの経費をかけて」

基本的なことですが、どの視点もきちんと整理することがまず重要だと思います。啓発にしろ、宣伝にしろ、人材募集にしろ、正確に、思いを込めて伝えていくためにも今一度、5W2Hの視点で見直すことを進めたいと思っております。

引き続きご支援のほどお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

令和7年度第2回相生市総合教育会議を終了